

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 徳島県 】

学校名【 阿南市立見能林小学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	第6学年 1組・2組・3組 82名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○ 元日本代表選手で、現在は U-16 の代表コーチを務める方から、目標を持つことの大切さを学ぶとともに、これからの自身の生き方を見つめ直し、よりよく生きていこうという意欲を育てる。</p>
5 取組内容	<p>(1) 体育館でバスケットボールを使った体ほぐしの運動を行い、ペアやグループで楽しみながら、運動に親しんだ。</p> <p>(2) 古海さんがどのようにバスケットボールと向き合い、そこから何を学び、どう生きてきたかを教えていただき、これからどう生きていくかを話し合った。</p> <p>(3) これからの生き方を見つめ直し、作文にまとめた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>



(4) 多目的ホールに移動し、講師の先生がどのように生きてきたか、そして、今子どもたちに何を期待しているのかなどを話していただき、自分たちのこれからの目標を話し合った。



6 主な成果

- バasketボールを使った手軽な運動をすることで、体を動かす楽しさや仲間と交流する喜びを体感することができた。
- 元日本代表選手のお話を聞くことで、夢を持つことや人の嫌がる仕事や役割を率先して行うこと、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを知ることができた。
- 失敗は挑戦しているから起こることで、恥ずかしいことではない、ということや、失敗することの大切さを学び、夢（目標）に向かって努力する意欲をもつことができた。
- 夢に向かって歩み始めたら、必ず壁にぶち当たる。その時に諦めずに努力を続けることで、壁を乗り越えられるし、乗り越えた先に大きな喜びがある、ということを知り、努力の大切さを感じることができた。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の興味や関心を高めるために、オリンピックの歴史や競技種目について、インターネットを活用して、事前に調べ学習を行った。 ○ 社会体育でミニバスケットボール、野球、バレーボール、サッカー等に取り組む児童を中心に質問を考え、スポーツに取り組む意識を高め、楽しみ方が広げられるようにした。 ○ 徳島にゆかりのある方に講師として来ていただき、オリンピックやパラリンピックをより身近に感じられるようにした。 ○ 事前に、自分たちの夢について、それぞれに考えをまとめるように指導した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科や体験学習との関連を考え、児童の学びがより有効なものとなるような学習計画を立案する必要がある。 ○ スポーツ体験や講演が児童にとって、より効果的なものになるよう、事前の連絡や調整を十分に行うことが重要である。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童にオリンピック競技だけでなくパラリンピック競技についても体験、学習させ、スポーツの楽しみ方や魅力について、より幅広い視点から考えさせたい。 ○ 選手だけでなく、選手を支える仕事をされている方に来ていただき、その方の思いや願いを学ばせたい。